

高知市

# 県大 地域と認知症カフェ 永国寺キャンパスで毎月



高知県立大学で開かれた認知症カフェ  
(高知市永国寺町)

高知県立大学と地域が運営する認知症カフェがこのほど、高知市永国寺町の永国寺キャンパスにオープンした。毎月第1土曜日に開催し、専門家によるミニ講話などを通じて認知症への学びを深められるのが特徴。大学が運営に関わるのは県内初となる。

認知症カフェはオランダが発祥で全国に普及しており、県内にも約120カ所ある。ただ、全国的に認知症当事者の参加が少ないことが課題となっている。今回オープンした「土曜の永国寺カフェ」は、同大や地元の地域包括支援センターなどで行く実行委

員会が企画・運営。オンラインに倣い、レクリエーションはなく、専門家らが認知症に関する講話や情報提供を行うスタイルにしている。

オープン初日の2日には認知症当事者とその家族、地域住民ら60人がコーヒー片手に交流を深めた。カフェタイムを楽しんだ後、同大学社会福祉学部の矢吹知之准教授が認知症カフェの

歴史や目的について解説。「これまで認知症は『怖い、なりたくない』という偏見があまりにも大きかった。認知症について学び、語り合えば古い認知症観も変わっていくんじゃないか」と語り掛けた。

夫婦で参加した地元の男性(67)は「認知症のことを知っておかないか数年になつてきたので、いろいろ教えてくれてありがたい。居

心地のいい雰囲気だったのでまた来ようと思う」と話していた。

矢吹准教授は「会話が難しい認知症の人がいれば専門職が声掛けするなどし、当事者も自然と集える場にしたい」と話す。カフェは予約不要で誰でも参加できる。問い合わせは上街・高知街・小高坂地域包括支援センター(0888・871・5963)まで。(石丸静香)